

平成24年度 大阪府動物由来感染症対策審議会

■日時：平成25年3月15日（金）14:00～16:00

■場所：大阪府立公衆衛生研究所4階講堂

■出席者（敬称略）：

氏名	所属・職位
小崎 俊司	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 研究科長
松林 驍之介	大阪府獣医師会 代表
高野 正子	高槻市保健所長
森脇 俊	豊中市保健所長
平 佳和	大阪府市長会 代表
小谷 勝彦	大阪府町村長会 代表
土生川 洋	大阪府健康医療部保健医療室長
桐山 晴光	大阪府健康医療部環境衛生課長
中島 英夫	大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課長
西池 公男	大阪府家畜保健衛生所長
宮園 将哉	大阪府保健所長会代表
久米田 裕子	大阪府立公衆衛生研究所細菌課長
加瀬 哲男	大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課長
久留飛 克明	大阪府立箕面公園昆虫館長

■欠席者（敬称略）：

氏名	所属・職位
細井田 大成	大阪市獣医師会副会長
甲田 伸一	大阪市保健所長
山崎 真理江	堺市保健所長
松本 小百合	東大阪市保健所長
山本 憲次	大阪府健康医療部食の安全推進課長
永井 仁美	大阪府健康医療部地域保健課長
茂松 茂人	大阪府医師会 代表

■会議の成立

本会議は、「大阪府動物由来感染症対策審議会規則」第5条第2項に規定される定足数（委員の過半数）を満たしており、有効に成立している。（委員数：21名 出席者：14名 欠席者：7名）

■議事内容

○会長選任

小崎委員が会長に選任された。

○会議の公開

本会の公開について、意義なく決議された。

○議題

1 「平成 24 年度サーベイランス実施状況の概要について」

2 「蚊が媒介する感染症のサーベイランス検査の結果について」

- ・ ウエストナイル熱サーベイランス結果報告
- ・ 日本脳炎、デング熱、チクングニア熱サーベイランス結果報告
- ・ 府内 16 ヶ所、家畜飼育施設周辺 2 ヶ所にて蚊を捕集・検査を実施したが、全て陰性。
- ・ 農林サイドのウエストナイル熱サーベイランスは今年度で終了予定。今後は公衆衛生サイドで実施する蚊のサーベイランスでウイルス検出された場合、発見場所周辺の馬飼育施設の立入検査、死亡野鳥の検査を実施する。
- ・ 大阪市・堺市・東大阪市・高槻市・豊中市においても計 24 ヶ所で蚊の捕集・検査を実施したが、全て陰性。

3 「動物（家きん）における鳥インフルエンザに関するサーベイランス検査の結果について」

- ・ 府内養鶏農家等でウイルス検査及び抗体検査を実施したが、全て陰性。水禽類の糞便検査や死亡野鳥の検査においても、全て陰性。
- ・ 世界及びアジアでの高病原性・低病原性鳥インフルエンザ発生状況
- ・ 人での鳥インフルエンザ（H5N1）発生状況

4 「アライグマに関するサーベイランス検査の結果について」

- ・ アライグマ防除実施計画に基づき府内で捕獲された個体から材料を採材し検査を実施。
- ・ レプトスピラ症は昨年度より陽性率が低下。北部地域で若干陽性率が低い。
- ・ トキソプラズマは陽性率 7%。地域による差はなかった。
- ・ Q 熱は抗体検出されなかった。
- ・ 日本紅斑熱 103 検体中 12 検体で抗体検出された。南部で陽性率が高い傾向あり。

5 「その他のサーベイランス結果について」

- ・ 東大阪市のサーベイランスで犬の糞便からジアルジア症および犬回虫症を確認。

6 「動物由来感染症疾患報告数」

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症：保育園で 06 発生。100 名以上の感染者が出た。
- ・ チクングニア熱、デング熱、マラリアは輸入例。エキノコックス症の大阪 1 例は中国渡航者。
- ・ レプトスピラ症は不明。

7 「その他・狂犬病について」

- ・ 「平成 24 年度狂犬病予防担当者会議」の報告。
- ・ フランスではモロッコから検疫をすり抜けた感染犬が輸入された。
- ・ 岐阜県では疑い事例発生をうけ、マニュアル作成、大学等の専門機関との体制を整備。
- ・ 狂犬病検査体制に関するアンケート結果によると、検査困難な自治体もあり、大学・感染研等との調整ができていない。

8 「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」

- ・ 3月14日公表された資料により概要説明。患者はいずれも西日本で発生。
- ・ 3月13日以降、検査実施用キット配布。公衛研で対応。（国立感染研と二重チェック体制）
- ・ ダニのサーベイランスについては、厚生労働省から何も示されていない。